



～ふるさとのバラが香る～

2015 信州なかのバラまつり

今回で22回目を迎えた「信州なかのバラまつり」は、「ふるさとの薔薇」此処にしか咲かないバラがある。出会いがある」をテーマとし、5月30日から6月21日までの23日間におたり、一本木公園を会場に盛大に開催されました。

バラの開花時期が例年より1週間ほど早まるなど、経験したことのないような早い開花となりましたが、中野市バラまつり実行委員会と、一般社団法人一本木公園バラの会の皆さんのほか、大勢のボランティアスタッフがの協力で支えられ、その想いに応えるように、23日間、園内には美しいバラが咲き誇りました。

期間中は、約5万人の皆さんが来園され、色鮮やかに輝くバラとともに、園内いっばいに響き渡る音楽や各種イベントなど、思い思いにバラまつりを楽しんでいました。

咲き誇る 薔薇



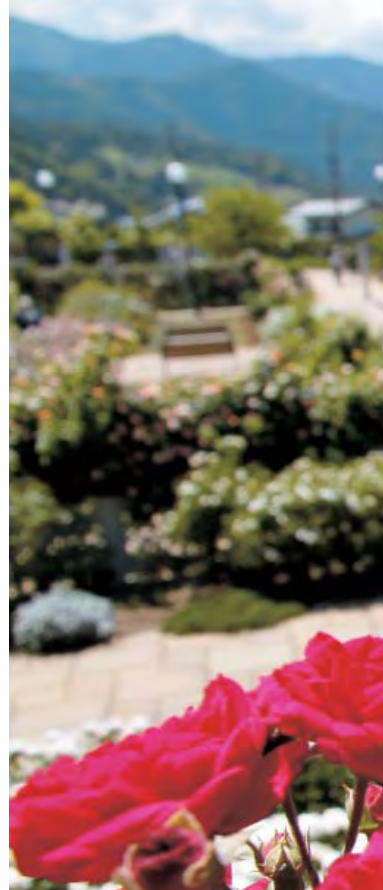
▲中野市オリジナル品種のバラ。
なかの小町(左)とシックナカノ(右)



輝 人 き と 響 音 く



▲市音楽親善アンバサダーの麻衣さんによるコンサートも行われました



interview ～スタッフ全員が一丸となった23日間～

今年バラの開花が本当に早く、お客さんに満足いただけるか、毎日のように天候の心配をする23日間となりました。しかし、たくさんの方のスタッフに支えられて無事にバラまつりを終えることができたので、スタッフ全員に対し、感謝の気持ちでいっぱい입니다。好きなバラを投票していただく新企画「IPKバラ総選挙」では、投票用紙に皆さんから数多くのアンケートをいただくことができたので、課題などを分析・検討しながら、より良いバラまつりを目指していきたいと思えます。



中野市
バラまつり実行委員会
芳川博成 会長

